

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月22日		記入者	内線	5163
部名	管理部	課名	学務課	課長名	高橋 哲
事務事業名	学童(生徒)通学安全事業(防犯ブザー貸与)				
予算上の事務事業名	学童通学安全経費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		23220		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第2節 安心して暮らせるまちづくり				事業開始年度
施策名	第2施策 犯罪のないまちづくり				平成16年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
防犯ブザー貸与事務実施要項					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 対策 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
子どもを狙った連れ去りなどの犯罪が増加しており、子どもたちの登下校時の安全確保を図るため、防犯ブザーを全児童・生徒に貸与する。			市内の全児童・生徒		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
<ul style="list-style-type: none"> <li>16年4月に防犯ブザーを貸与 <ul style="list-style-type: none"> <li>対象 市立小学校55校、市内私立小学校1校及び相模原養護学校小学部の児童 市立中学校27校、市内私立中学校2校及び相模原養護学校中学部の生徒 市内在住で市外の学校へ通う児童・生徒</li> <li>新小学1年生用は、平成15年度予算で購入 小学2年生～中学3年生用については、平成16年度予算で購入 また、17年度新小学1年生も平成16年度予算で購入 平成17年度以降は、翌年度新小学1年生用として購入</li> </ul> </li> </ul>					
6 関連・類似事業や他市の状況					
こども110番の家(交通・地域安全課)					
他市の状況 藤沢市、厚木市、秦野市、伊勢原市等で実施					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	0	1,700	12,741	2,030	2,030
一般財源	0	1,700	12,741	2,030	2,030
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	401	404	404	404
事業コスト合計(a)	0	2,101	13,145	2,434	2,434
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	防犯ブザー貸与		対象名称(単位)	市内小・中学校 児童生徒数(人)	
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	0	2,101	13,145	2,434	2,434
対象数	0	6,500	56,840	7,000	7,000
単位あたり経費(円)		323	231	348	348
前年度比			0.72	1.50	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	防犯ブザー貸与人数(人)		指標式と指標の説明	貸与個数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	0.0	0.0	56,140.0			
目標	0.0	0.0	56,140.0	7,000.0	7,000.0	
目標達成度			1.00			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	連れ去り等重大事件防止率(%)		指標式と指標の説明	100-(重大事件発生校/市内小・中学校数×100)		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	0.0	0.0	100.0			
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
目標達成度			100.0			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	[	]：良好な状態を維持する事業				
	[	]：概ね良好な状況である事業				
	[	]：見直しを行う必要がある事業				
	[	]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと			
不審者からの声掛けに防犯ブザーを使用することにより被害を免れた事例などの効果が見られる中で、携帯割合が低い学校もあるため、防犯ブザーの携帯と活用の徹底については今後も一層の指導徹底を図る。			通学路の安全対策としての地元の協力方法等			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				